

あゆみ 歩

文京区立文林中学校第二学年
2017年4月19日(水)
第36号

「大人へ近づく第一歩」

「大人へ近づく第一歩」の第2学年がスタートし、先日の学活で1学期のテーマについて話をしました。

1学期のテーマは、「自主・自律」

- ・「自主」…自ら進んで行動すること！
- ・「自律」…自分自身で立てた規範に従って行動すること！

これらを意識して行動することで、

- ・自分でできることは自分でやる積極性
- ・能率的、効率的に物事が進む
- ・計画通りに行かない場合のリカバリー力

などの力がつけられます。さらに自らを成長させていきましょう。

覚えていますか。この言葉…

「言われてからやる」のではなく、「言われなくてもやる」

「やってもらって当たり前」ではなく、「自ら進んでやる」

正規時間割がスタート！

4月14日(金)から、正規時間割がスタートしました。お世話になる先生方です！
日々の授業を大切に受けましょう！

教科	先生		教科	先生
国語	田邊 しのぶ	難波江 康正	社会	武藤 章
英語	鶴山 裕有未	高草木 直子	理科	川島 紀子
数学	白土 潤	霜越 恒子	音楽	加藤 涼子
体育	望月 和弘 福島 美由紀		技術	森下 法樹
家庭	畑中 寛子		美術	石井 元

【始業式】

校長先生が、「挑」という漢字についてお話ししました！
※漢字の成り立ちについては、下に記載してあります！



【対面式】



アイスブレイキングを実施しました。

※アイスブレイキングとは、自己紹介をしたり、簡単なゲームをしたりすることが多く、いくつかのワークやゲームの活動時間全体を指す。「アイスブレイク」は、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その「硬い氷をこわす、溶かす」という意味を持っている。

～「挑」という漢字について～

「挑む」という字は手へんに「兆し」と書きます。漢字を生みだした古代中国の殷王朝では、神の前で執り行う占いの結果によって国を治めていました。占いの方法は、亀の甲羅や獣の骨を焼き、縦横に現れたひび割れの線を読み解いてゆくというもの。この線を組み合わせて左右対称に並べたのが、「兆し」という漢字のものの形です。当時の国王は、神と人のあいだを行き来できる存在とされ、この占いの結果は国王の意思であり、神の御心でもありました。先の見通しを立てるために行われた占いの結果が「兆し」。絶対的権力の象徴ともいえるこの文字に手へんを添えた「挑む」という字には、どんななりたちの物語があったのでしょうか。古代中国の権力者たちは、自らを神の代理と名乗って国を治めていました。民衆の篤い信仰心を利用した罰なのか、それはやがて理不尽な恐怖政治となり、腐敗への道をたどり始めます。残酷な刑罰や周辺部族への侵略を、神は本当にお望みなのだろうか。いつの世にも、自分の置かれた状況に呑みこまれることなく、真実を見きわめようとする賢者は居るものです。周囲の声に耳を傾け、考えを深めたその人は、新たな理想を抱きます。そして我が身を奮い立たせ、占いの結果を示した亀の甲羅や獣の骨にその手で力を加え、あえて逆らおうとするのです。絶対的権力をもつ「兆し」という文字に手へんを添えた「挑む」という漢字。そこには、命がけの戦いに挑もうとした者の勇気が込められているのです。未来を予兆させる「兆し」に手へんを添えて、その結果を自らの手で変えようと立ち向かう様子を表す漢字です。岡本太郎は、反骨精神を貫き、世間に挑み続けた芸術家。彼はこう語っています。一人間にとって成功とはいったい何だろう。結局のところ、自分の夢に向かって自分がどれだけ挑んだか、努力したかどうか、ではないだろうか。真摯に学び続けてきたあなたは、すでに、自らの力でひとつの成功を手にかけているのです。すべての受験生がそんな晴れ晴れとした心で、試験に挑むことができますように。

「感じて・・・、漢字の世界」より引用